

新年のあいさつ



大崎町長 東 靖弘

新年あけましておめでとございます。

皆様方におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をご家族おそろいでお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、新しい年が皆様にとりましますことと心からお祈りいたします。また、日頃から町政に対する深いご理解とご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、ソチで開催された冬季オリンピックでの選手団の活躍や『はやぶさ2』の打ち上げ成功などの明るい話題の一方で、広島県や京都府などにおける大雨による災害、御岳山の噴火など自然の脅威を改めて認識させられました。被害を受けられた皆様に関心をおぼやみとお見舞いを申し上げます。

本町においては幸いなことに大規模な災害は発生しておりませんが、災害はいつどのような形で発生するか分からないという事を肝に銘じ、町民の皆様が安心して過ごせるよう万全を期してまいりますので、皆

様方におかれましても自主防災組織活動などを通じて『自分たちの生命は自分たちで守る』という気持ちで、もしもの場合に備えていただき、最小限の被害にとどめる努力を官民一体で築いてまいりたいと考えております。

また、経済情勢に目を向けてみますと、リーマンショック後、長らく停滞していた日本経済もアベノミクスなどによる経済効果や東京オリンピック開催に向けた準備などにより、ようやく明るい兆しが広がり始めたものの、消費税率の引上げなどもあり民間需要への波及効果が薄く、地方においては景気の回復を実感できない状態であったように感じております。しかしながら本町においては、東九州自動車道の整備とともに、念願でありました地域活性化インターとしての『野方インターチェンジ』が供用開始されるなど地域経済成長に必要なとなる基盤の整備という面において大きな一歩を踏み出すことができました。本町といたしましてもその効果を十分に活用し相乗効果